

# TÉNÉRÉ 700



# The Next Horizon is Yours.

冒険は、道の先にある。

かつて多くのライダーの心を捉え、今も魅了し続けているひとつの言葉がある。  
日常に倦み、非日常の夢見る時、その言葉“ADVENTURE”は、ふと心に甦ってくるのだ。  
そう、道を守るのがモーターサイクルならば、道なき道を往くのもまた、モーターサイクルだ。

全域にわたって滑らか、かつトルクフルな2気筒エンジン。  
ライダーのスロットル操作に対し、瞬時に生み出されるリニアなトルク、さらには心地よい加速感。  
まして、歴史と伝統に培われたその名は、必ずやあなたの心を揺さ立てずにはおかないだろう。

TOP IN ADVENTURE — Ténéré700

さあ、大いなる決断を生むのは、もはやあなたの少しの勇気だけだ。  
頼もしい一台のパートナーから始まる大いなる冒険が、きっとあなたを待っている。

遙か彼方の地平線を目指し、今こそ走り出す、まさにその時。

新たな冒険は、確かにそこに、その道の先にあるのだから。

# Ténéréとは、「何もないところ」。

## ■新たな4stビッグオフロードマシンの登場

1970年代半ば、ヤマハは西海岸の広大な荒野や砂漠での走行を楽しむオフロードマニア達の要望にこたえたエンデュロマシン「TT500」(1975年発売)と、デュアルパーパスモデルの「XT500」(1976年)を発売。耐久性に優れ強力なトルクを生み出すエンジンと、その強烈な振動にも耐える軽量な車体を持ったそれらのマシンは米国で瞬く間に大ヒット。各種エンデュロレースでも連戦連勝の活躍を見せていった。一方、欧州で「XT500」は米国とは違った展開で予想を超えるヒットとなっていく。トルクフルなエンジンと、軽量スリムな車体の組み合わせが、普段使いからツーリングまでこなすオールラウンドモデルとして受け入れられたのである。しかし、それだけではなかった。ひとりの情熱的なフランス人によって「XT500」は全く新たなカテゴリを開拓の先鋒としての役割を果たしていくことになる。

その男の名前はジャン・クロード・オリビエ。彼が目指した新たなカテゴリを開拓とは、「アドベンチャー」カテゴリであった。「モーターサイクルで冒険に出るときがきた」。500ccのビッグシングルを眺める彼の瞳には、未知なるアフリカ大陸が重なっていた。そして1979年、オアシスラリー(第1回バリダカールラリー、以下「バリダカ」)では、「ソノトヤマハチーム」から自身を含め4人が「XT500」で参戦する。この第1回は、二輪四輪の区分はなく総合結果で争われたが、「XT500」はレンジローパーやルノーなど四輪勢力を尻目にシリル・ヌブーとジル・コメがワンツー。翌第2回大会でもヌブーをトップに上位4台を「XT500」が独占する。なおこの年、二輪で完走した25台のうち「XT500」は最多の11台だった。こうしてカリフォルニア生まれのスタイリッシュなデザインの「XT500」は、「アドベンチャー」を人々に奮起させる着火剤として、フランスを中心に欧州でも多くのファン的心を虜にしていた。

## ■アドベンチャー・カテゴリの確立

バリダカは翌1981年の第3回大会からFIA・FIM公認となり、二輪・四輪のファクトリー参加が相次ぐ。ヤマハは翌1982年、「XT500」を発展させ、YDIS(ヤマハ・デュオ・インテークシステム)という独自機構を持つ「XT550」を発売したが、次第に高速化するバリダカでは苦戦が続いていた。そこで開発陣が出した答えが「XT600 Ténéré」だった。排気量は600cc。YDISは継承され、30Lのビッグタンク、ヤマハオフロード車初のフロントディスクブレーキ、ベルクランク型のモノクロスサスペンション、アルミ製リアアーム等を纏った。「XT600 Ténéré」は10年にわたり欧州で販売され、その後1991年に5バルブ660ccエンジン搭載の「XTZ660 Ténéré」へと進化。ライダー達の「夢」と重なりながら、

「Ténéré」はいつしか、ヤマハのアドベンチャー精神を語る代名詞となり「XT500」から始まったアドベンチャー・カテゴリは、このTénéréの発売によって、大きな花へと成長していったのだ。

## ■勝利への執念

アドベンチャーという新たなカテゴリを確立し、多くのライダーのバリダカへの参戦を可能にしたヤマハだったが、バリダカのレースでの優勝からは、第3回以降遠ざかっていた。1987年、とうとうヤマハ本社レース開発部門がファクトリーマシン開発を始動。それが「OW93」と呼ぶ750cc水冷単気筒5バルブエンジンの「YZE750 Ténéré」だ。そして1988年、水冷シングル・5バルブ・ツインプラグのYZE750 Ténéré(OW93)で2位となったのがフランコ・ピコ。そしてピコが駆った「OW93」Ténéréのノウハウは、次代の市販「Ténéré」へと受け継がれることになる。

## ■市販車両Super Ténéré開発

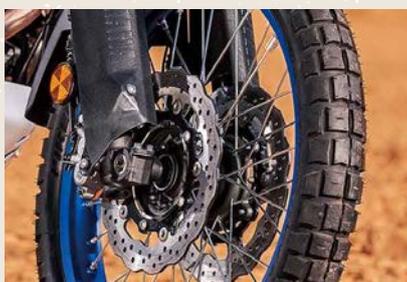
「Ténéré」には夢とロマンの歴史がある。アドベンチャー・カテゴリは常にヤマハがリードすべき」という使命感に開発者たちは燃えていた。チームは、モデル像をこうキーワード化した。1)サバンナで他車を圧倒的に凌駕する! 2)連続2時間以上、快適に高速で巡航できること。そして1988年秋のバリショーで、ついに「XTZ750 Super Ténéré」がデビューする。

## ■Super Ténéréでのファクトリー参戦

新しく誕生した市販車両「XTZ750 Super Ténéré」をベースに、バリダカへのファクトリー参戦は加速していった。そしてついに1991年、「YZE 750T Super Ténéré」が1~3位を独占し、ヤマハが10年ぶりにバリダカを制覇。オリビエとヤマハ開発陣の勝利への執念が実った瞬間だった。そして1995年、ステファン・ベテランセルが「XTZ850R」ベースのファクトリー体制でバリダカに復活すると4度目の優勝を飾る。ヤマハは1998年までのバリダカ19戦の中で9勝とメーカー最多勝利を記録し、ファクトリーとしてのバリダカ参戦にピリオドを打った。バリダカへの挑戦でヤマハが得た知見と技術は、その後「XT660Z Ténéré」や「XT1200Z Super Ténéré」といったTénéréブランドに継承されていく。しかしそれだけでなく、ロードスポーツモデルや、新ジャンル開拓にも活かされていた。

Ténéréとは、トゥアレグ語で「何もないところ」の意。その何もない「砂漠のなかの砂漠」にヤマハは情熱的な冒険者たちとともに、オフロード開拓者としてチャレンジし、そして今もチャレンジし続けている。





### 快適性・トルクフル・軽量を実現した 直列2気筒エンジン

ライダーのスロットル操作に対しリニアなトルクを創り出す設計思想“クロスプレーン・コンセプト”に基づき開発された、水冷・DOHC・直列2気筒・4バルブ・270度クランク・フューエルインジェクション搭載エンジン。80.0mm×68.5mmのボアストローク、11.5:1の圧縮比から最高出力を9,000r/minで、最大トルクを6,500r/minで発揮。豊かな低中速トルクと伸びやかな高回転をあわせ持ち、ギアレシオ、2次減速比最適化との相乗効果で、オフロードでのファンライディングとオンロードでの扱いやすさの両立を図っている。また新エアクリナーボックス、コンパクト設計の排気系、新作ラジエーターファン&グリルなどの採用により、オンはもちろんオフロードでの卓越した走破性に寄与している。

### 新設計フレーム&軽量ボディと 最適ディメンション

新設計のダブルクレードルタイプフレームを採用。高張力鋼管のフレームは強度に優れ、軽量コンパクトなエンジンのポテンシャルを活かし、オフでの走破性に必要な剛性バランスと軽量化を実現した。またリアフレームはフレームと一体設計とし、トップケースなどのアクセサリを装着しやすい設計。またリアアームはアルミの重力鋳造パーツで、軽量で良好な剛性バランスを実現し、優れた走破性に貢献している。

### 43mm径インナーチューブの 倒立式フロントサスペンション

43mm径、ストローク210mmの倒立式フロントサスペンション。剛性確保に有利なメリットを生かし、優れたフロント接地感、ショック吸収性を引き出すセッティングとした。圧減衰の調整スクリューはボトム側、伸減衰の調整スクリューはトップ側に装備。強度バランスを最適化したアルミ鍛造アンダーブラケット、アルミ鋳造ハンドルクラウンなどにより、自然な操舵フィーリングをもたらすポイントとなっている。

### 新設計リンク式モノクロスリアサスペンション

減衰特性とバネ定数、リンクレシオの最適化で、一般路での快適な乗り味とハードな走行での粘り強い特性を両立した。プリロード、圧減衰、伸減衰の調整が可能。

### ABS標準装備・前後バランスに優れたブレーキ

フロントは282mm径の軽量ウェーブディスクをダブルで装着、ブレンボ社製2ポットキャリパーを組合せた。また、ブレーキレバー位置は5段階調整が可能。リアは、245mm径の軽量ウェーブディスクに1ポットキャリパーを組合せ。また、ブレーキペダル位置の微調整が可能。初期タッチ、制動力、コントロール性、リリース特性に優れている。さらにオン・オフ切替え可能なABS※を標準装備している。

※車輪に付けられたセンサーがスリップを検知すると、ブレーキを制御して車輪のロックを抑制します。制動距離を短くしたり、転倒を回避するシステムではありません。コーナー等の手前では十分に減速し、コーナリング中の急制動を避けてください。舗装路を走行するときはABSをオンにして走行してください。未舗装路を走行するときは必要に応じてABSをオフにしてください。

### ピレリ製前後タイヤと軽量スポークホイール

オフロード、オンロードともに良好なパフォーマンスを発揮する、ピレリ製SCORPION RALLY STRを前後に装着。フロント21インチ、リア18インチで、軽量アルミ製リムに組込んでいる。



### ポジション自由度と利便性を追求したフラットシート

シート高875mmのフラットシートを採用。シートは前後別体式で、リアシートは工具不要でキーにて取り外しが可能。フラットシートとスリムなタンクとのバランス、およびフット・ヒップ・ハンドルポジションの位置関係の調整により、走行状況に応じて好みのポジションを取りやすくなっている。

### LED・4灯ヘッドランプ&LEDテールランプ

上側2灯がロービーム、下側2灯がハイビーム、下部にポジションランプを配置した個性的なデザインの4灯ヘッドランプを採用。左右独立で調整可能な、光軸調整ノブも装備。またテールランプにもLEDを採用した。

### ひと目で情報を読み取れる

#### フル液晶マルチファンクションメーター

太陽光下でも情報を読み取りやすい、フル液晶マルチファンクションメーターを採用。エンジン回転数をバー表示、使用中のギアがわかるギアポジションインジケータを右上に表示。外気温、水温、時計、燃料計に加え、環境に配慮した走行時に点灯するECOインジケータも装備している。

### エキサイティング・アドベンチャーを体現した個性的なデザイン

“Exciting Adventure Ténéré” をコンセプトに、スタイリング創作を行った。エキサイティングなオフスポーツの世界を表現するため、力強さ、軽量感、タフネス感などを備えるプロポーションを追求。立ち乗りを考慮したフラットシートはオフコンペモデルを彷彿させ、Ténéré700のオフポテンシャルをダイレクトに表現している。また、アドベンチャーモデルとしての多彩な機能表現を随所に織り込んだ。優れたウィンドプロテクションに寄与するハイフェイス、サイズとフィット感をバランスさせた燃料タンクは、アドベンチャースピリットを端的に表現している。さらに歴代XTやWR系のイメージを受け継ぐラリーレーシング表現に留意。歴代TénéréのDNAを継承するヘッドランプやタンクは、同時にモダンラリーバイクの新しいプロポーションを提唱している。ボディカラーは3タイプ。マットダークグレーは、非日常であるラリーマシンの世界観とレースブルーの組合せ。独特な荒削り感と、ヤマハパフォーマンスを象徴している。マットブラックは、塊感とタフなツールの象徴。艶の質感の差によるミニマムコントラストの2トーンで、ビビッドなアクセントがモダンなツールとしての印象を際立たせている。ホワイトはレースやスポーツギアでも多用され、パフォーマンスを象徴する白×赤のコンビネーションがスポーティで軽快な印象を与えている。

### その他の主な特徴

#### ●12VのDCジャック(メーター左側)

※DCジャックはエンジンがかかっている状態でお使いください。また、接続する機器や充電用アダプターの仕様等によっては、充電・使用できない場合があります。運転中のスマートフォン・携帯電話等の操作・通話はおやめください。

#### ●アルミ製テーパーハンドル

#### ●アルミ製荷掛けフック(左右2個ずつ)

#### ●高さ調整可能なフロントフェンダー

#### ●アルミ製アンダーガード

#### ●オフロード走行に配慮した 着脱可能フットレストラバー

#### ●リアブレーキペダル調整機能

#### ●アルミ製鍛造サイドスタンド



ヘッドランプは撮影用に点灯したもので、実際の走行状態を示すものではありません。



メーターパネルは撮影用に点灯したもので、実際の走行状態を示すものではありません。



メーターパネルは撮影用に点灯したもので、実際の走行状態を示すものではありません。



# Ténéré700 ABS

メーカー希望小売価格1,265,000円〔消費税10%含む〕(本体価格1,150,000円)

- 価格は参考価格です。メーカー希望小売価格は消費税10%にもとづく価格です。詳しくは販売店にお問い合わせください。
- メーカー希望小売価格(リサイクル費用含む)には保険料、税金(消費税除く)、登録などに伴う諸費用は含まれていません。

## TENERE700(Ténéré700 ABS) 主要諸元

認定型式	2BL-DM09J
車台打刻型式	DM09J
原動機打刻型式	M415E
全長/全幅/全高	2,370mm / 905mm / 1,455mm
軸間距離	1,595mm
シート高/最低地上高	875mm / 240mm
車両重量	205kg
燃料消費率*1 (90km/h 定地燃費値*2 (km/L))	35.0km/L(2名乗車時) 24.0km/L(クラス3 サブクラス3-2)1名乗車時
最小回転半径	2.9m
原動機種類	水冷、4ストローク、DOHC、4バルブ
気筒数配列/総排気量	直列、2気筒/688cm <sup>3</sup>
内径×行程	80.0×68.5mm
圧縮比	11.5:1
最高出力	53kW(72PS) / 9,000r/min
最大トルク	67N・m(6.8kgf・m) / 6,500r/min
始動方式	セルフ式
潤滑方式	ウェットサンプ
エンジンオイル容量	3.0L
燃料タンク容量	16L〔無鉛レギュラーガソリン指定〕
吸気・燃料装置/燃料供給方式	フェューエルインジェクション
点火方式	TCI(トランジスタ式)
バッテリー容量/型式	12V、8.6Ah(10HR) / YTZ10S
駆動方式	チェーン
1次減速比	1.925(77/40)
2次減速比	3.066(46/15)
クラッチ形式	湿式、多板
変速装置	常時噛合式6速
変速方式	リターン式
変速比	2.846 / 2.125 / 1.631 / 1.300 / 1.090 / 0.964
フレーム形式	ダブルフルード
キヤスター/トレール	27°00' / 105mm
タイサイズ(前・後)	90/90-21M/C 54V・ 150/70 R18 M/C 70V (前後チューブタイプ)
制動装置形式(前・後)	油圧式ダブルディスクブレーキ・油圧式シングルディスクブレーキ
ヘッドランプ	LED
乗車定員	2名

- \*1:燃料消費率は、定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法、車両状態(装備、仕様)や整備状態などの諸条件により異なります。
- \*2:定地燃費値は、車速一定で走行した実測にもとづく燃料消費率です。
- \*3:WMTCモード値は、発進、加速、停止などを含んだ国際基準となっている走行モードで測定された排出ガス試験結果にもとづく計算値です。走行モードのクラスは排気量と最高速度によって分類されます。

WMTCモード値については、日本自動車工業会ホームページ  
(<http://www.jama.or.jp/motorcycle/>)もご参照ください。

●本仕様は予告なく変更することがあります。●仕様変更などにより、写真と内容が一部異なる場合があります。●車体色は撮影条件、印刷などにより実際の色と異なる場合があります。●カタログ中のイメージ写真は仕様変更のものとは異なる場合があります。●カタログ中の走行写真は海外で撮影されたもので、一般公道では無様な走行をせず、安全な運転をしましょう。

## YAMAHA Motorcycle EXCLUSIVE Model

本モデルは、2020年より順次リニューアルを進めているYSP及びアドバンスディーラーのみで販売する「ヤマハモーターサイクル エクスルーシブモデル」です。ご購入につきましては取扱店にお問い合わせください。



マットダークグレーメタリック6(マットダークグレー)



ブルーイッシュホワイトパール1(ホワイト)



マットブラック2(マットブラック)

### ■ アクセサリーのことなら



株式会社ワイズギア  
〒437-0061 静岡県袋井市久能3001-8  
<https://www.ysgear.co.jp/>

商品に関するお問い合わせは、お近くのヤマハ販売店またはワイズギアへ

受付時間 月～金曜(祝日、弊社所定の休日を除く)9:30～12:00 13:00～17:00  
0～100の固定電話の場合、全国一都市間通話料がご利用いただけます。  
☎IP電話や電話番号の設定によってはご利用いただけません。

- メーカー希望小売価格は消費税10%にもとづく価格です。●掲載価格には工具、送料等は含まれていません。
- 商品の仕様及び価格は予告なく変更される場合があります。●商品のカラーは印刷のため実際と異なって見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。●商品は予告なく販売を終了させていただく場合があります。
- カスタムパーツ装着の場合、オートバイ本体のフレーム及びメーカーサービスを受けられない場合があります。

### ■ Ténéré700 ABSのさらに詳しい情報は

[www.yamaha-motor.co.jp/mc/](http://www.yamaha-motor.co.jp/mc/)

#### YX-6 ZENITH GF

メーカー希望小売価格27,500円  
〔消費税10%含む〕(本体価格25,000円)  
●規格:LS2 種-60 ●カラー:オレンジ、ブルー、レッド  
●大型ベンチレーションシステム ●後部ボリカーボネイト  
●複合素材構体 ●吸汗速乾性 ●吸汗速乾性を発揮する  
SUPERCOOL®内装 ●スキップジョイント標準装備(ス  
キップジョイントはオプション) ●タギンギアリングの装  
備が標準 ●メカメカニカル調整 ●長時間走行の疲れを軽減  
する低重心設計 ●ステンレス製ワンタッチバックル(日本製)  
●耳周リスピーカー-取替スペース ●オートバイに合わせて  
5速のスタイルを選ぶ5Wayシステム ●UVカットシールド



【数量限定】ブルー、レッド

#### YAD01-II プロテクターベスト

メーカー希望小売価格12,100円  
〔消費税10%含む〕(本体価格11,000円)  
●カラー:ブラック ●サイズ:フリー ●素材:(シェル部)  
合成樹脂(ベスト部)ポリウレタン100% ●ジャケットの  
下に装着し着用できるインナープロテクター ●ベスト部  
には通気性・伸縮性が高く、柔らかいポリウレタンを使用  
、幅広いユーザーサイズに対応可能



#### バイクカバー-ドタイプ ビッグオフロード

メーカー希望小売価格21,780円  
〔消費税10%含む〕(本体価格20,000円)  
●大型ベンチレーションシステム ●後部ボリカーボネイト  
●複合素材構体 ●吸汗速乾性 ●吸汗速乾性を発揮する  
SUPERCOOL®内装 ●スキップジョイント標準装備(ス  
キップジョイントはオプション) ●タギンギアリングの装  
備が標準 ●メカメカニカル調整 ●長時間走行の疲れを軽減  
する低重心設計 ●ステンレス製ワンタッチバックル(日本製)  
●耳周リスピーカー-取替スペース ●オートバイに合わせて  
5速のスタイルを選ぶ5Wayシステム ●UVカットシールド



#### ヤマハ純正4ストロークオイル

ヤマハ純正プレミアムシンセティック(1L缶)  
メーカー希望小売価格2,750円  
〔消費税10%含む〕(本体価格2,500円)  
●AE-10W-40 ●JASO MA2 ●化学合成油 ●中大容量に  
対応高品質全合成エンジンオイル ●大径容量モデルの夏場の過  
熱運転など、エンジンには過酷な状況に強いオイル ●高温高負荷状  
況下で蒸発が少なく、高い酸化安定性・油膜保持性能を発揮



2020年3月現在

**Motorcycle Recycling 110**

ヤマハでは、廃棄二輪車のリサイクルを推進しています。※リサイクルマークが  
ついていない車両であっても、廃棄時にリサイクル料金のご負担はありません。  
※但し、廃棄二輪取扱店に収集・運搬を依頼する場合の収集運搬費用は  
お客様の負担となります。詳しくは、廃棄二輪取扱店にお問い合わせください。

**2年保証**

ご購入のヤマハ二輪車(新車)には2年保証が適用されます。対象は  
ヤマハ発動機販売(株)が販売する二輪車です。(競技術モデル・  
電動アシスト自転車<PAS>を除く) ※詳しくは取扱説明書  
をご覧ください。日常点検、定期点検を必ず実施してください。

### 販売店

2020年3月現在 ●このカタログはFSC® 認証用紙を使用しています。●この印刷物を無断転載・無断使用することはお断りいたします。

### ヤマハ発動機株式会社 カスタマー コミュニケーション センター

〒438-8501 静岡県磐田市市新2500 ☎ 0120-090-819

受付時間 月曜～金曜(祝日、弊社所定の休日等を除く) 9:00～12:00 13:00～17:00



### 安全で快適なバイクライフのために。

- 交通ルールを遵守し、思いやり運転で走りましょう。●運転者と同乗者(乗車定員2名の場合)は適切な規格やサイズのヘルメットを選び、正しくかぶりましょう。●自賠責保険は必ず加入、更新をしましょう。●違法改造はやめましょう。●駐車の際は交通ルールとマナーを守りましょう。●日常点検、定期点検整備は必ず行いましょう。●急発進や長時間のアイドリングはやめましょう。●昼間はヘッドライトを下向きにしましょう。●ご使用前には、取扱説明書を必ず読みましょう。



ヤマハ発動機販売株式会社

〒144-0035 東京都大田区南蒲田2-16-2

テクノポート大樹生命ビル3階

2003-18D-01  
Q1K-TPC-010129